

浜嶋です。
こんにちは。

豊中第22団は、昭和53年2月9日に当団から分封したいわゆる兄弟団です。今年で40周年を迎え、本日より兵庫県立奥猪名健康の郷で「発団40周年記念合同舎営」が開催されています。テーマは、「なかまといっしょに未来に羽ばたこう、22団！！」です。明日から2日間、私と寺町副育成会長が参加します。

22団は、分封以前は同じ豊中第2団で活動していた仲間です。当時から活動していた指導者もいらっしゃいます。現在、22団は、2団と地域で分かれた形で、豊島北、豊島、中豊島、豊島西、野田、小曾根、高川、豊南、庄内、千成、島田、庄内南、庄内西の実に13の小学校をフォローする地域で活動するようになりました。登録数は、4月に74名でさらに3名が追加となり、77名です。当団は、69名に2名が増えて71名です。来年になればもっと増える見込みです。ともに、豊中市では4番目、5番目の規模で活動し、豊中市のボーイスカウト活動を支えています。

私は、カブ隊の隊長を11年間務めました。あまり22団との交流はありませんでした。団委員長になってから、地区の交流が増えて、22団の指導者となかよくなっています。いまでは、植村団委員長と互いに助け合う仲間として切磋琢磨して団運営を行っています。

ボーイスカウトの登録数が多かった時期は、自団ですべてできていたせいか、あまり他の団との交流が無かったように思います。現在は、他の団と合同隊集会を行ったり、地区の合同の集会が活発に行われ、スカウトも指導者も元豊中地区、ほくせつ地区の仲間を意識するようになってきていると思います。特に、改めて22団については、歴史的な経緯を重視し、交流を深めることが重要だと思います。兄弟団として、なかよく、共に継続して栄えていきたいです。

私は、植村団委員長には密かに闘志を燃やしています。兄弟団だからそんな意識が芽生えたと思います。合同運動会を実に44回開催しています。最近7年間で2団が優勝を4回もしたと思います。登録数もいい意味で競争して、22団を追い越したいと考えています。アグーナリーの本部要員として参加し、お世話になりました。また、日本ジャンボリーや世界ジャンボリーでは、植村団委員長は、国際委員長として大活躍です。今年もマレーシアのペラのメンバーを受け入れたところ。大変刺激を受けて、2団も積極的にホームステイを実現できました。

今回の記念行事に参加するに際して、今後、2団は22団をもっと理解し、もっと連携し、

協力し合うことが必要だと思います。いまごろ団委員長として言うべきことではないかもしれませんが、気付いた時から始めることが重要です。

当団も2020年に70周年を迎えます。あと3年間でどこまで成長できるか。昨年から今年にかけての勢いを加速して、登録数100名を目指したいですね。

2団の中では、計画目標を設定していないこと、目標に無関心であることを改めて、全員の意識を高めて行きたいです。でも、思い付きで急に言われても困りますよね。少しずつ、できる範囲でいいですから頑張りましょう。

では、兄弟団として、22団の40周年を2団全体でお祝いしましょう。心の中でお祝いしてあげてください。